



第 121 号

発 行 者
東筑摩塩尻教育会
編 集 者
会誌会報委員会

将来を担う子ども達の 健やかな成長のために研鑽を

東筑摩塩尻教育会長 横山 義雄



東筑摩塩尻教育会は、郡下の小学校教師百数十名の有志により明治十七年八月三十日に設立され、今年度で百三十年目となります。

多くの先輩方々が、「会員相互の研鑽により職能の向上に努め、もって地域の教育の充実と文化の進展に貢献する」と

の本案の目的に向かって、会員及び塩筑教育に携わる同僚の教育的力量と教養の向上を目指すと共に、教育改革の激動期にもゆるぎない自信をもって、教育の担い手にふさわしい学校職員のあり方を求め、本教育会を創り上げてきました。

また、より開かれた公益性の高い事業になるようにと、平成二十四年度より本教育会は、公益社団法人となり、三年目を迎えました。私たち教職員はもとより、広く一般の方々にも「自主研修の日」「教育研究発表会」など本教育会の特徴的な事業に参加していただくことも、少しずつではありますが実績を積み上げているところです。

今、教育改革の名のもと、道徳の教科化や小学校での英語科の導入など新たな試みが提言され、始まろうとしています。また、本地区でも子ども達の体力の低下や学力の向上、いじめ・不登校問題や体罰などの教職員の非遵行為防止など教育環境をめぐる様々な課題が山積しています。

子ども達の前に立つ私たちは、子ども達にとってかけがえない存在としての自信と自負をもち、子ども達が心豊かに学ぶことができる学校生活を構築することが求められています。そのために、一人ひとりの教職員が自主的・自律的に自らを鍛え磨く中で、目の前の子ども達と向き合いながら真摯に学び続けていくことが、自らの職能向上につながり、さらに目の前の子ども達はもとより、保護者の皆様や地域の皆様をはじめ、多くの関係する方々との信頼関係を構築していくことで、子ども達の健やかな成長を推し進めていくことができるのだと考えます。そして、教育会の仲間同士で支え合い、励まし合い学び合っていくことが一人でも研鑽するよりも大きな力となり、教育本来の姿を推進していくものになると確信しています。

会員の皆様、関係する多くの方々、さ

らには地域の一般の方々と共に、「将来を担う子ども達の健やかな成長のために」を合い言葉に、さらなる職能向上をめざして研鑽を進めていこうではありませんか。

最後に、ある老人介護施設の掲示板に掲示されていた「裕」と題した文章をご紹介します。

「最も精密な機械部品の一つである歯車にも『遊び』というものがあって、かみ合わせの部分には意図的に隙間をあけてあります。そうしないと、きつちりかみ合えずに回転できなくなるからです。何であれ物事には、そして私たちの生活の流れにはすべてそういう隙間、「ゆとり」がなければなりません。その遊びの部分のことを『裕』といいます。もととは、衣服がゆつたりしていて、動きのためゆとりがあるという意味です。

ゆつたりと、あわてずに落ち着いて構えることが大切なのだと、この言葉は教えてくれています。熟語には、『裕福』、『余裕』などがあります。どれもゆとりがあつて、伸びやかな気分のものばかりです。」

教育会長として力量のない私ですが、どうかお力添えをお願いします。

(宗賀小学校)

特集 ◆平成二十六年 東筑摩塩尻教育会総集會

會員発表

「響き合う心と音色を
求めて仲間とつながる」

音楽教育研究会

毎年東筑摩塩尻教育会の総集會では音楽教育研究会を中心とした合唱団が開會音楽で合唱を発表しております。今回は會員発表という場をいただきましたので歌声だけでなく活動の内容や合唱発表の裏側などもご紹介したいと思います。

音楽教育研究会は毎年三〇名ほどの會員の皆さんに参加していただいております。今年度も三十五名の先生方にお集まりいただきました。

活動は、①自主研修の日、②総集會の合唱発表の大きく二つです。

① 自主研修の日

年二回の自主研修の日では、授業・実践に役立つことや、音楽の魅力を感じられることをみんなで研修しようという取り組みをしています。近年では箏や和太鼓、尺八といった和楽器ののりの方をお招きし、実際にその楽器に触れながら、奏法はも



ちろん楽器についての様々な知識を教えてくださいました。また、世界各国の民族楽器に親しみながら即興でできるリズムや音を楽しんだり、いろいろな国の珍しい楽器を手にし、音を体で感じたりもしました。

今年度第一回目は、鍵盤ハーモニカ奏者のはざまゆか先生をお招きし、演奏をお聴きしたり演習したりすることを通して鍵盤ハーモニカの魅力を感じたいと計画しています。特に小学校ではとても身近な楽器ですので、會員ではない先生方もどうぞご参加ください。

研修は短時間ではありますが、音楽でつながる大事な時間です。教師としての立場ではなく一個人として音楽に浸り、仲間と一緒にやる楽しさを味わえる、そんな時間となっています。音は目に見えないけれど一緒にその部屋で音楽を楽しむと、なぜかすぐに打ちとけ笑顔になります。まさに「音楽でつながる」瞬間です。

科は学校で一人という存在です。もちろん担任の先生方や校内の先生方にたくさん相談して支えていただきとても有難く思っています。しかしどうしても教科としての悩み・苦しみがあります。そんな時に同じ悩みを持つ先生同士、いろいろな経験がある先生同士集まって助け合っているのもこの音楽教育研究会です。「音楽会の六年生のいい曲はない?」「こんなふうに入らないうまい」「ここがうまくいかないんだけど」など。ここでもつながることがあります。

子どもたちに音楽の楽しさを伝えるには、まずは自分が音楽の楽しさ・すばらしさを感じていたいなと思っています。それには、このみんなで音楽を楽しむ研修の場がとてもよい機会なのです。

② 総集會の合唱発表

毎年四月に入るとすぐに合唱団員の募集を始めます。この合唱団は研究会に所属してなくてもいいのです。合唱経験がなくてもいいのです。どなたでも参加できます。今年も四十名が集まりました。音楽科ではない先生方も誘い合って参加していただきとても有難いです。

練習は平日夕方の一時間半の練習が二回と、当日の午前中も頑張って練習しました。パートごとに音をとって、そしてみんなで合わせます。子どもたちの練習と同じです。「このリズムよくわかんない」「つられちゃう」、子どもの気持ちが出てよくわかります。自分が学ぶ立場にな

るってとても大事なだと思えます。

ご指導してください。洗馬小の高山雪校長先生はともパワフルで、高山先生に教えていただく白黒の楽譜がいろいろな色に染まっています。例え「テンポを変えずさわやかに」。「歌声が変わったら顔も変わったね」「子音をたてると緊張感が出るよ」...このような言葉でど



ほど、そうやって言えば子どもたちにもわかりやすいな」「こうやって練習すればいいんだ」と学ぶことがたくさんあります。発表のための練習ですが、子どもの気持ちになれたり、教師側の教材研究に繋がると、とても中身の濃い時間で、これも一つの研修となっています。そして練習が終わると、疲れているけれどとてもスッキリした気持ちになれるのが不思議です。それはきっと歌ってつながる・音楽でつながる心地よさを共有でき、それが一人ひとりの元氣になっているからだと思います。

ここは実際に先生方にもぜひ体験していただきたいところですので、突然ですが会場の皆さんで「みんなでつながろう！合唱体験コーナー」をしたいと思っています。

〜高山校長先生ご指導のもと、会場の皆さんで「信濃の国」の冒頭部分を歌いました。ご協力ありがとうございます。ありがとうございました。

みんなで一体となる気持ちよさを感じていただけたでしょうか。子どもたちにもこのような気持ち味わえる機会をたくさんつくってあげられたらと思います。

曲紹介

演奏する曲について紹介をします。作曲家の若松敏さんの曲を二曲歌います。若松敏さんは小中学生の合唱曲をたくさん作曲していて、例えば『U&I』『この地球のどこかで』『最後のチャイム』など音楽会や卒業式でよく歌われる曲や教科書掲載曲が多数あるので、皆さんもご存じの曲があるかもしれません。

合唱発表する曲は『united』（アンリミテッド）『大地かけぬけて』です。『united』は中学一年生の音楽の教科書に掲載されています。また、歌手の稲垣潤一さんがこの曲を気に入りCDを発売したそうです。作曲者はこの曲について「この大宇宙に生命が存在することの奇跡をかみしめつつ、ただひたすらに、よりがむしやりに進んでいってほしい。地球で出逢えた私たち仲間とみんな」などと記しています。地球、宇宙の大きなつながりを感じ、まさに無限の可能性を信じたくなる曲です。

『大地かけぬけて』は、獅子がたくましく大地をかけぬけている様子から、信

念をもって力強く前に進んでいく勇氣とパワーを与えてくれる曲です。躍動感あふれる歌のメロディとピアノ伴奏が特徴の曲です。

合唱を聴いていただき音楽教育研究会の会員発表を終わります。音楽でつながる心地よさを感じながらお聴きください。

（山形小学校 百瀬玲子）

会員の感想

**東筑摩塩尻教育会
総集會に参加して**

前山 夕貴

五月十七日土曜日、塩尻中学校にて今年度の東筑摩塩尻教育会総集會が行われた。塩筑の先生たちが一堂に会する大切なこの機会。ステージに掲げられた「自ら求め、共に磨き合う教育会」の題字を見、ここに会した先生たちの姿を見、そして



横山教育会長先生のお話をお聞きした時、この先生方が共につながり合い、思いを共有しながら指導にあたっていくならば、きっと大きな

力になっていくに違いないという思いが湧いてきた。そして、今後行われる郡市単位の学年会や教科会、自主研修など、この塩筑教育会にいるからこそ経験できること、先生たちとの出会いを大切にしていきたいという思いを強くした。

続いて音楽研究会の会員発表が行われた。昨年からは塩筑の教育会にお世話になっている私にとって、昨年度の総集會における音楽研究会のみなさんの美しく心のこもった歌声、素敵な表情は強く心に残っていたのでこの発表をとっても楽しみにしていた。専科の先生方としての悩みや苦しみがある中で、それらを共有しながら、音楽を通して前向きに話し合い、活動を続けている様子が伝わってきた。

「子どもの立場になって、自分が学ぶ立場になる」、「音楽でつながることが一人一人の元気になる」という言葉は、音楽に限らずすべての教科や場面にも言えることだと感じた。会員を巻き込んだ「信濃の国」の合唱は、高山先生の「自分の周りの空気を全部吸い込んで」、「重負に負けてます」、「そんな言葉の一つ一つが本物の指導から紡ぎだされた言葉であり、不思議と自分に語りかけてくださっているような気がして、いつのまにか子どもの気持ちになっている自分があった。今年もお聞きすることのできた、音楽研究会の皆さんの「united」「大地かけぬけて」は、とても気持ちのいい歌声だった。息のびったりあったあの一休感、一人一人が「音楽が大好きだ」という気



持ちでつながっていて、歌い終わった後の晴れ晴れとした笑顔、やっぱり何かに打ち込んで、全力を尽くす大人の姿って、かっこいい、そう感じ、たくさんさんの元気をいただくことができた。

**東筑摩塩尻教育会
総集會感想**

西浦 真宏

私は今年教員になり初めて総集會に参加したが、音楽教育研究会による会員発表と、立川流落語家の立川談慶氏による講演が強く印象に残った。

音楽教育研究会による会員発表では、活動内容の発表だけではなく、全体で信濃の国の合唱練習を行った。その中で、指揮者の高山雪先生が会場の誰よりも大きな声を出し、「笑顔で！」「自分の中の良い声を全部出して！」「周りの空気をすべて吸うつもりで息を吸って！」などと、簡潔で具体的な指示を出していた姿は印象的だった。歌の途中でも全体に届く大きな声が出ており、その度に、全体の声が大きくなり、歌に向き合う姿勢が高まっていく様子を感じられた。率先垂



範と適切な指示により、集団を良い方向へ導くことが見事に体現されていたと思

う。
さて、立川談慶氏の講演は、巧みな話

術と演目により、笑いが絶えないものとなった。落語家と教員の共通点には、どちらも人を相手に話す職業ということがある。教員は、生徒に分かる授業をするために日々研究と修養に励むが、同時に、生徒に授業を聞かせる雰囲気を作り上げたいものである。そのために、豊富な話題やウィットに富んだジョークを交える落語の手法を取り入れることは、生徒が授業に自発的に参加する環境をつくるために効果的と思う。その際、一方的な語りかけではなく、生徒のつぶやきや反応を拾い、教員と生徒、生徒間の相互の意思の疎通を図ることで、生徒に達成感や満足感も与えられるようにしていきたい。

談慶氏の講演の中で、「落語の中にはいじめがない」という言葉が強く印象に残った。落語では、登場人物がどれほど失敗しても、あるいは突拍子のないことを言っても、周りはその陰湿に責め立てるようなことはしない。むしろ、それを笑いの種として昇華し、場を和ませるしまうのである。そして、その失敗や言

葉をいつまでも引きずるということもしない。昨今の世の中を見ていると、失敗が許されず世知辛い印象を受けるが、それでは失敗を恐れて萎縮し、自由闊達に意見を言うことが難しくなる。失敗を気にせず、反省すべきところは反省をして次につなげられる雰囲気が必要だが、落語の雰囲気はこうした雰囲気にあたるのではないだろうか。教室でも失敗したら反省を次に生かし、いつまでも引きずらない雰囲気を作り上げたいものである。

どちらの発表も参考になる点が多く、私自身見習ってこれからの教員生活に生かしていきたいと思う。(筑北中学校)

一緒に歌いませんか♪

波場 智美

教育会総集会での合唱発表は、私にとって年に一度の楽しみです。初任の頃から毎年欠かさず参加しています。

十三年前の初任の四月は、仕事のこともよくわからない、知り合いもない、本当に心細いスタートでした。そんな時、教育会の合唱練習に参加しました。回を重ねるごとに、少しずつ顔見知りの先生が増え、音楽の授業のことや部活のことが相談できるようになりました。「今度うちの全校音楽見においでよ」「その楽譜ならうちにあるから貸してあげるよ」など、たくさん親切にしてください、たくさん教えていただきました。困ったと

きにいつでも助けしてくれる心強い先輩が周りにたくさんいるということ、ここで実感しました。そんな経験から、「とにかくいろいろなところに顔を出して、知り合いを増やそう」と思ってたってききました。そうして出会ったたくさんの先生方とのつながりは、私の宝物です。

さて、坂井小に赴任して三年目となった今年、私はある野望を心に抱いていました。毎年一人ぼっちで参加していたこの合唱発表に、「今年こそは坂井小から仲間を連れて参加する」というもの。そのために、①職員室で毎日のように宣伝し、②歌(カラオケ)が好きそうな人には個人的にアタックし、③さらに、その先生方のお名前の頭文字を名簿にあらじめ書いておき、④練習後のお食事会を企画しました。すると、若い先生がノリで名前を書いてくださったのをきっかけに、一人、また一人と増えていき、最終的には七人集まりました。全職員の三分の一以上。四パート全部揃ったのも自慢です。

全体練習には行けない人もいたので、坂井小練習を四回ほどとりました。二曲とも初めての曲。イマドキのおしゃれなリズムに苦し



み、「くじけるな」のフレーズを歌うたび、「くじけるっ、くじけるー！」と叫んで大笑いしました。五月のとても忙しい時期でしたが、みんなで時間を作って集まれたことや、楽しみながら練習ができたことは、本当によい思い出です。

最後までメンバーになるのを悩んでいたA藤先生は、本番の三日前から汗をかき、緊張していたそうです。それとは正反対なのがW邊先生。「夜更かし禁止」と言っておいたのに、前日は夜中の十二時まで楽しく飲んでいたので、そして迎えた本番。いろいろな学校の方の先生の先生方と、心ひとつにつながって歌える瞬間は、やっぱり最高です。今年はずっといたみなさんも、来年はぜひ、一緒に歌いませんか♪ (坂井小学校)

平成二十六年 度

塩筑教育会組織

役員

- 会長 横山 義雄 (宗賀小)
- 副会長 二茅 芳郎 (塩尻東小)
- 理事 本木 英敏 (事務局長)
- 福山真太郎
- 塩原 章一
- 小坂 幸恵 (書記)

- 監事 宮坂 正 (麻績小)
- 中島 文子

常任委員長 塩原 義郎(坂井小)
 副委員長 高山 雪(洗馬小)
 常任委員 田中 公男(本城小)
 澤柳 秀子(生坂小)
 赤羽 高志(木曾榑川小)
 村上 啓(塩尻中)

代議員会議長 戸辺 修(山形小)
 副議長 米窪 治紀(榑川中)

古畑富美江 中野 邦彦 倉科 ゆり
 小河 保宣 保坂 尚貴 手塚 俊彦
 田村 秀則 太田 秀保 安江 克也
 上條 勝利 熊谷 賢一 龍野 守
 小澤 英明 富田 昭子 戸辺 修
 望月 秀明 久保田岳秀 待井 明
 原山 千廣 宮崎 聡 滝沢 聖二
 小坂 寿樹 丸山 博 北原 佳隆
 富田 章 阪口 和彦 本堂 彰信
 細山 和寿 米窪 治紀 高谷 修
 仲 弘久 富井 光和 大野 征二

本年度事業計画

一 各種研究委員会の推進について

1 各種研究委員会の性格

各種研究委員会は、東筑摩塩尻教育会の目的である「会員相互の研鑽により、職能の向上に努め、以て文化の進展に貢献する」を達成するための大きな柱である。具体的には次の三点をふまえて進めていく。

(1) 研究や実践、ならびにそれらの情報収集・交換を通して、会員相互の人間関係を密にし、職能の向上を図る。

(2) 塩筑教育の課題を解決するため、できるだけ会員の要望に応え、地域に密着し

た研究活動をする。
 (3) 塩筑教育の進展を期するため、会員及び地域内児童生徒の教育のために、奉仕的な仕事をすする。

2 研究主題および委員名

(◎) 世話係 ○ 委員長

課題追究部

小中連携(塩尻1)

小中学校での学習面、生活面での指導のあり方について連携を深める。

◎百瀬嘉久(広陵中) ○齊藤博正(広丘小)
 熊谷賢一(吉田小) 児玉貴久子(榑小)
 倉橋幸雄(丘中) 橘 幸恵(片丘小)
 杉原昭紀(広陵中)

小中連携(塩尻2)

中学校進学に向けてスムーズに中学校生活に慣れていくためのより効果的な小中連携の取り組みのあり方について。学習・生活面の指導及び交流の持ち方

◎高山 雪(洗馬小) ○塩原京子(塩尻東小)
 中野博文(洗馬小) 永原美香(木曾榑川小)
 堀田茂樹(塩尻中) 小坂寿樹(両小野中)
 大池あゆみ(塩尻西小) 池田 弘(宗賀小)
 中川喜夫(塩尻西部中) 米窪治紀(榑川中)

小中連携(中央)

中学校への期待感を高める小中連携はどうあったらよいかく「ギャップを越えて」
 ◎久保田英雄(山形小) ○吉江伸一郎(山形小)
 大久保あきほ(朝日小)

小中連携(北部)

小中の学習面、生活面での指導のあり方についての連携を深める。
 ◎田中公男(本城小) ○待井 明(本城小)
 原山千廣(坂北小) 宮崎 聡(麻績小)

高谷 修(生坂中) 滝沢聖二(坂井小)
 久保田岳秀(生坂小) 桑原 清(筑北中)
 仲 弘久(聖南中)

児童生徒が様々な作品と身近に接し美的感覚を高めることに資する。
 ◎村上 啓(塩尻中) ○吉江伸一郎(山形小)
 北村知香(宗賀小) 松村弘文(榑小)
 塩原俊郎(広陵中) 高谷 修(生坂中)

学力検討
 現在の塩筑の児童・生徒の学力の状態はどうなっているか。

読書感想文委員会
 児童生徒が、読書の楽しさを感じ得ることができるような読書感想文の書き方の指導はどうあったらよいか。

◎大和田康子(吉田小) ○高梨秀隆(聖南中)
 中島 洋(丘中) 大池あゆみ(塩尻西小)
 北澤健一(塩尻西部中) 吉江哲也(麻績小)

◎澤柳秀子(生坂小) ○手塚香子(洗馬小)
 古畑富美江(塩尻東小) 丸山真由美(塩尻中)
 井出宏幸(榑川中) 白井明子(生坂小)

専門部

道徳教育委員会

今までの経験や体験を自分の言葉を大切にしながら伝え合い、友と関わる中で道徳的価値を深めていく道徳のあり方

事業部
 会誌・会報委員会
 教育会会員の教育実践、各校の活動紹介を中心とした親しみやすく読みやすい会誌会報の発行。

◎小林正幸(片丘小) ○宮内利浩(吉田小)
 北原美枝(片丘小) 横澤臣二(榑小)
 佐藤 要(広陵中) 木内さやか(丘中)
 津田 守(朝日小) 阿部考彰(筑北中)

◎三尾利彦(丘中) ○百瀬みさ子(宗賀小)
 中村典子(吉田小) 吉越千尋(両小野中)
 宮下和久(丘中) 古畑 宏(山形小)
 山越明秀(坂北小) 中村久実(本城小)

作品展運営部

書道展委員会

児童・生徒の書写力・鑑賞力を高め指導者の資質の向上を図るための県展の審査および巡回書道展の企画運営

資料室委員会
 教育会所蔵資料の整理

◎塩原義郎(坂井小) ○富田昭子(朝日小)
 浅野敦子(榑小) 宮下広雄(広丘小)
 齋藤有希(塩尻中) 山田綾子(筑北中)

◎岩下史弥(聖南中) ○太田秀保(広丘小)
 森 信幸(塩尻東小) 横山久男(木曾榑川小)
 飯田大輔(塩尻中)

科学展委員会
 科学教育の振興と探究的な児童生徒の育成

情報ネット委員会
 教育会ホームページコンテンツの検討および構築。

◎赤羽高志(木曾榑川小) ○倉科ゆり(塩尻西小)
 安達 薫(吉田小) 福田哲也(広陵中)
 北澤秀憲(山形小) 塚原章治(坂井小)

◎櫻井隆夫(塩尻西部中) ○龍野 守(洗馬小)
 小林幸司(広丘小) 児玉充司(塩尻西部中)

美術展委員会
 自他校の作品研究を通して、表現に対する理解を深める。巡回展を通して多くの児

◎竹下俊明(丘中学校)
 全国中学校社会科教育研究大会

二 県外視察・自主研究

○波多腰みつる(朝日小学校)

筑波大学附属小学校

○待井 明(本城小学校)

筑波大学附属小学校

○中村直樹(塩尻西部中学校)

横浜国立大学附属鎌倉中学校研究発表会

○小澤嘉寛(山形小学校)

小学校英語教育研究会京都支部研究会

○堀田茂樹(塩尻中学校)

全国学校体育研究大会岐阜大会

自主研究(信濃教育会「教育論文・教育実践賞」)

・塩筑教育会からも研究補助(奨励金)が出ますので、ご応募ください。

三 助成事業

教科等研究会

国 語

◎田中公男 ○山田綾子

・夏期研修会への参加

・長野県国語研究協議会への参加

・学会誌「信州国語教育」86号「会報」76号の発行

・授業研究会

・作品研究会

・会員の要望に応じた活動 等

社 会

◎櫻井隆夫 ○小坂寿樹

・定期総会

・夏期研修会

・講演会

・研究の推進

・実証授業

・信州社会科教育研究会・塩筑支部として

の活動 等

算数・数学

◎中村千春 ○中島 洋

・教育研究会総会

・授業研究会

・読み合わせと学習指導の研究

・第48回中信地区算数数学教育研究大会

塩筑大会の開催 等

理 科

◎三尾利彦 ○宮崎みつ枝

・授業研究会

・実験講習委員会

・研修委員会

・会報委員会

・HP運営委員会 等

音 楽

◎高山 雪 ○百瀬玲子

・東筑摩塩尻教育会定期総集会の会員発表

・授業参観・講演会等の呼びかけ、案内 等

図工・美術

◎村上 啓 ○村石 靖

・「長野県児童生徒美術展」・「信州子ども

絵画百年館」・「花やみどりのある絵」

審査

・「郡展(巡回展)」審査及び作品研究会

・第68回長野県美術教育研究大会

・公開授業・授業研究会等への参加

・松塩筑美術研究会会員作品展

・立体アート展への協力

・先輩の先生方と語る会

・「塩筑教育」のカット作成協力

・「県美術教育研究会報」への寄稿 等

体 育

◎藤澤陽子 ○宮崎 聡

・第55回体育学習研究会参加

・五郡市共催体育学習夏期研究会参加

・第55回長野県学校体育研究大会参加

・五郡市共催体育学習研究会・講演会参加

・塩筑授業研究会の案内

・体育学習研究 等

技術・家庭

◎赤羽高志 ○佐藤 要

・技術・家庭科教育研究大会への参加 等

英 語

◎市河 泉 ○北條香織

・英語教育研究会

・小学校英語活動研修会 等

道 徳

◎田野口さつき ○常盤明子

・授業参観・授業研究会

・松本市道徳教育研究会夏期研修会参加 等

特活(学級作り)

◎久保田英雄 ○児玉貴久子

・研究会等

哲学研究会(コスモスの会)

◎小林 隆 ○原山千廣

・松本哲学同好会との合同座禅会

・信教生涯学習講座「哲学の道」研修会

・松本哲学同好会との合同読み合わせ会 等

文化財

◎岩下史弥 ○小谷将紀

・臨地研修会 等

書写書道

◎塩原義郎 ○宮下広雄

・県児童生徒美術展「習字の部」審査

・長野県書写書道研究大会への参加

・「塩筑教育」(会誌)での誌上作品展 等

学校園

◎三澤正彦 ○北澤秀憲

・野菜農家の見学 等

保 健

◎百瀬嘉久 ○寺嶋真美

・講師を迎え、実験や演習を兼ねた研修

会の開催 等

カウンセリング

◎澤柳秀子 ○荻原美雪

・児童・生徒理解の基礎と教育相談研修

研究会

・研究会 等

情報教育

◎伊達和行 ○下平良洋

・研修会 等

総合的な学習の時間・生活

◎青柳信雄 ○戸辺 修

・県総合生活研究会夏研修会

・総合生活研究会県大会 等

発達障害支援教育

◎大和田康子 ○松本詩子

・講演会の実施

・事例検討会 等

◆◆◆ 編 集 後 記 ◆◆◆

一学期も残りわずかになりました。今年度も、会報を一、二学期に二回、会誌を年度末に発行する予定です。本年度も会報を通し、会員の皆様の相互理解を深められるような編集を目指してまいりたいと思います。お忙しい中、ご寄稿くださいました皆様に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

